

| | | | | | |
|---|---|--|---|---|--------------|
| 呉工業高等専門学校 | | 開講年度 | 令和04年度 (2022年度) | 授業科目 | プロジェクトデザイン入門 |
| 科目基礎情報 | | | | | |
| 科目番号 | 0024 | | 科目区分 | 一般 / 選択必修 | |
| 授業形態 | 演習 | | 単位の種別と単位数 | 履修単位: 2 | |
| 開設学科 | 電気情報工学科 | | 対象学年 | 1 | |
| 開設期 | 前期 | | 週時間数 | 4 | |
| 教科書/教材 | 配布プリントなど | | | | |
| 担当教員 | 林 和彦, 上寺 哲也, 井上 浩孝, 黒川 岳司, 三村 陽一, 安 箱敏, 三枝 玄希 | | | | |
| 到達目標 | | | | | |
| 1. 高専で学ぶ専門科目の概要と特徴を理解する。 2. コミュニケーションスキル、合意形成、情報収集・活用・発信力、課題発見、論理的思考力を必要とする取り組みを経験し、その必要性を認識する。 3. 自己に対する向き不向き、好き嫌い、得手不得手を考える取り組みを経験し、その必要性を認識する。 | | | | | |
| ルーブリック | | | | | |
| | 理想的な到達レベルの目安 | 標準的な到達レベルの目安 | 未到達レベルの目安 | | |
| 評価項目1 | 高専で学ぶ専門科目の概要と特徴を理解する。 | 高専で学ぶ専門科目の概要と特徴を知る。 | 高専で学ぶ専門科目の概要と特徴を理解できない。 | | |
| 評価項目2 | コミュニケーションスキル、合意形成、情報収集・活用・発信力、課題発見、論理的思考力について認識、理解、活用が適切にできる。 | コミュニケーションスキル、合意形成、情報収集・活用・発信力、課題発見、論理的思考力について認識、理解、活用ができる。 | コミュニケーションスキル、合意形成、情報収集・活用・発信力、課題発見、論理的思考力について認識、理解、活用ができない。 | | |
| 評価項目3 | 自己に対する向き不向き、好き嫌い、得手不得手を考える取り組みを経験し、その必要性を認識する。 | 自己に対する向き不向き、好き嫌い、得手不得手を考える取り組みを経験し、その必要性を知る。 | 自己に対する向き不向き、好き嫌い、得手不得手を考える取り組みを経験しない。 | | |
| 学科の到達目標項目との関係 | | | | | |
| 学習・教育到達度目標 本科の学習・教育目標 (HD) | | | | | |
| 教育方法等 | | | | | |
| 概要 | グループワークを中心に、他人とコミュニケーション取りながら、自己に関することを表現する体験を行う。また、実験・実習によって、所属学科および他学科の特徴を学ぶ。 | | | | |
| 授業の進め方・方法 | 演習、実習、グループワーク、講義 | | | | |
| 注意点 | 他人とコミュニケーションを取るよう心がけて下さい。 | | | | |
| 授業の属性・履修上の区分 | | | | | |
| <input type="checkbox"/> アクティブラーニング | | <input type="checkbox"/> ICT 利用 | | <input type="checkbox"/> 遠隔授業対応 | |
| <input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業 | | | | | |
| 授業計画 | | | | | |
| | 週 | 授業内容 | 週ごとの到達目標 | | |
| 前期 | 1stQ | 1週 | オリエンテーションと専門に関する実験・実習 | 授業の内容と全体の目標を理解する。 | |
| | 2週 | 自己分析についてのワークショップと専門に関する実験・実習 | 自己について理解を深めることと専門に関する実験・実習を完遂する。専門に関する実験・実習を完遂する。 | | |
| | 3週 | 自己分析についてのワークショップと専門に関する実験・実習 | 自己について理解を深めることと専門に関する実験・実習を完遂する。専門に関する実験・実習を完遂する。 | | |
| | 4週 | 自己分析についてのワークショップと専門に関する実験・実習 | 自己について理解を深めることと専門に関する実験・実習を完遂する。専門に関する実験・実習を完遂する。 | | |
| | 5週 | 自己分析についてのワークショップの発表と専門に関する実験・実習 | 自己について理解を深めることと専門に関する実験・実習を完遂する。専門に関する実験・実習を完遂する。 | | |
| | 6週 | 国際関係と技術者の関係のワークショップと専門に関する実験・実習 | 国際関係と技術者の関係のワークショップと専門に関する実験・実習を完遂する。専門に関する実験・実習を完遂する。 | | |
| | 7週 | 国際関係と技術者の関係のワークショップと専門に関する実験・実習 | 国際関係と技術者の関係のワークショップと専門に関する実験・実習を完遂する。専門に関する実験・実習を完遂する。 | | |
| | 8週 | 他人と協働して自己を表現するワークショップと専門に関する実験・実習 | 自己理解と自己表現と理解することと専門に関する実験・実習を完遂する。専門に関する実験・実習の振り返りを完遂する。 | | |
| | 2ndQ | 9週 | 他人と協働して自己を表現するワークショップと専門に関する実験・実習 | 自己理解と自己表現と理解することと専門に関する実験・実習を完遂する。専門に関する実験・実習を完遂する。 | |
| | 10週 | 他人と協働して自己を表現するワークショップと専門に関する実験・実習 | 自己理解と自己表現と理解することと専門に関する実験・実習を完遂する。専門に関する実験・実習を完遂する。 | | |
| | 11週 | 他人と協働して自己を表現するワークショップと専門に関する実験・実習 | 自己理解と自己表現と理解することと専門に関する実験・実習を完遂する。専門に関する実験・実習を完遂する。 | | |
| | 12週 | 他人と協働して自己を表現するワークショップと専門に関する実験・実習 | 自己理解と自己表現と理解することと専門に関する実験・実習を完遂する。専門に関する実験・実習の振り返りを完遂する。 | | |

| | | | |
|--|-----|--------------------------------------|---|
| | 13週 | 他人と協働して自己を表現するワークショップと専門に関する実験・実習 | 自己理解と自己表現と理解することと専門に関する実験・実習を完遂する。 専門に関する実験・実習を完遂する。 |
| | 14週 | 他人と協働して自己を表現するワークショップと専門に関する実験・実習 | 自己理解と自己表現と理解することと専門に関する実験・実習を完遂する。 専門に関する実験・実習を完遂する。 |
| | 15週 | 他人と協働して自己を表現するワークショップの発表と専門に関する実験・実習 | 自己理解と自己表現と理解することと専門に関する実験・実習を完遂する。 専門に関する実験・実習を完遂する。 |
| | 16週 | 活動した内容の振り返り | 振り返りのワークを完成する。 |

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

| 分類 | 分野 | 学習内容 | 学習内容の到達目標 | 到達レベル | 授業週 | |
|--|-------------|---------------------------|---|---------------------------------|-----|--|
| 基礎的能力 | 工学基礎 | 工学実験技術(各種測定方法、データ処理、考察方法) | 実験テーマの目的に沿って実験・測定結果の妥当性など実験データについて論理的な考察ができる。 | 3 | | |
| | | | 実験ノートや実験レポートの記載方法に沿ってレポート作成を実践できる。 | 3 | | |
| | | | 実験データを適切なグラフや図、表など用いて表現できる。 | 3 | | |
| | | | 実験・実習を安全性や禁止事項など配慮して実践できる。 | 3 | | |
| | | | 個人・複数名での実験・実習であっても役割を意識して主体的に取り組むことができる。 | 3 | | |
| | | | 共同実験における基本的ルールを把握し、実践できる。 | 3 | | |
| | | | レポートを期限内に提出できるように計画を立て、それを実践できる。 | 3 | | |
| 分野横断的能力 | 汎用的技能 | 汎用的技能 | 円滑なコミュニケーションのための態度をとることができる(相づち、繰り返し、ボディランゲージなど)。 | 3 | | |
| | | | 他者の意見を聞き合意形成することができる。 | 3 | | |
| | | | 合意形成のために会話を成立させることができる。 | 3 | | |
| | | | グループワーク、ワークショップ等の特定の合意形成の方法を実践できる。 | 3 | | |
| | | | 書籍、インターネット、アンケート等により必要な情報を適切に収集することができる。 | 3 | | |
| | | | 収集した情報の取捨選択・整理・分類などにより、活用すべき情報を選択できる。 | 3 | | |
| | | | 課題の解決は直感や常識にとらわれず、論理的な手順で考えなければならないことを知っている。 | 3 | | |
| | | | どのような過程で結論を導いたか思考の過程を他者に説明できる。 | 3 | | |
| | 態度・志向性(人間力) | 態度・志向性 | 態度・志向性 | 適切な範囲やレベルで解決策を提案できる。 | 3 | |
| | | | | 周囲の状況と自身の立場に照らし、必要な行動をとることができる。 | 3 | |
| | | | | 自らの考えで責任を持つてものごとに取り組むことができる。 | 3 | |
| | | | | 目標の実現に向けて計画ができる。 | 3 | |
| | | | | 目標の実現に向けて自らを律して行動できる。 | 3 | |
| | | | | 日常生活における時間管理、健康管理、金銭管理などができる。 | 3 | |
| | | | | 社会の一員として、自らの行動、発言、役割を認識して行動できる。 | 3 | |
| チームで協調・共同することの意義・効果を認識している。 | 3 | | | | | |
| チームで協調・共同するために自身の感情をコントロールし、他者の意見を尊重するためのコミュニケーションをとることができる。 | 3 | | | | | |
| 当事者意識をもってチームでの作業・研究を進めることができる。 | 3 | | | | | |
| チームのメンバーとしての役割を把握した行動ができる。 | 3 | | | | | |
| 法令やルールを遵守した行動をとれる。 | 3 | | | | | |
| 他者のおかれている状況に配慮した行動がとれる。 | 3 | | | | | |

評価割合

| | 試験 | 発表 | 相互評価 | 態度 | ポートフォリオ | その他 | 合計 |
|---------|----|----|------|----|---------|-----|-----|
| 総合評価割合 | 0 | 0 | 0 | 40 | 60 | 0 | 100 |
| 基礎的能力 | 0 | 0 | 0 | 20 | 30 | 0 | 50 |
| 専門的能力 | 0 | 0 | 0 | 10 | 15 | 0 | 25 |
| 分野横断的能力 | 0 | 0 | 0 | 10 | 15 | 0 | 25 |